

東北地方の外来生物

●東北地方の特定外来生物

平成22(2010)年9月現在、外来生物法では97種類が特定外来生物に指定されていますが、東北地方では21種類の侵入が確認されています(右表参照)。そのうち代表的な5種類を紹介します。

哺乳類	タイワンザル, ヌートリア, クリハラリス(タイワンリス), アライグマ, アメリカミンク
鳥 類	ガビチョウ, カオグロガビチョウ, ソウシチョウ
両生類	ウシガエル
魚 類	カダヤシ, ブルーギル, コクチバス, オオクチバス
甲殻類	ウチダザリガニ
植 物	オオキンケイギク, オオハンゴンソウ, ナルトサワギク, オオカワヂシャ, アレチウリ, オオフサモ, アゾラ・クリスタータ

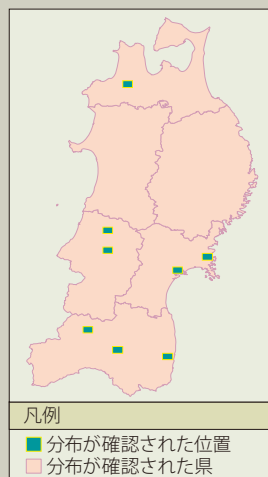
●東北地方の代表的な特定外来生物

アライグマ



北アメリカ原産。ペットとして持ち込まれたものが逃げ出して野生化しました。

- **生息環境**
夜行性で森林や湿地帯から市街地まで多様な環境に生息し、一般的には水に近い場所を好みます。
- **被害と対策**
雑食性で、ニホンザリガニ等の在来生物の捕食、農作物などへの被害、歴史的建造物に爪痕をつける等の報告がされています。対策としては、箱わな等を用いた捕獲が実施されています。

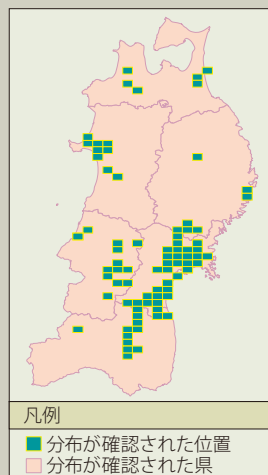


ウシガエル



北アメリカ原産。食用目的の養殖から逃げた個体が野生化しました。

- **生息環境**
池沼などの止水、穏やかな流れの周辺に生息しています。夜行性で昼間は水草の中や水場周辺のくぼ地などに隠れています。
- **被害と対策**
肉食性で他のカエルや、ザリガニ、昆虫、小鳥までも捕食します。他のカエルとの競合も懸念されています。対策としては、水中での箱わな等を用いた成体の捕獲が実施されています。

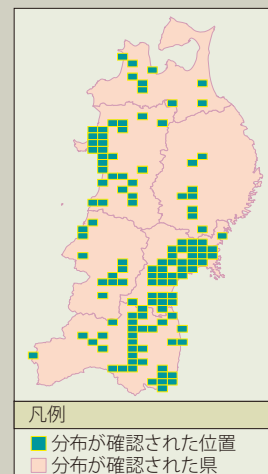


オオクチバス



北アメリカ原産。もともとは食用目的で持ち込まれましたが、釣りの対象として全国に放流され、野生化しました。

- **生息環境**
ダム湖や天然湖沼、ため池、河川中～下流域、汽水域などの水域に生息しています。
- **被害と対策**
肉食性で捕食や競争を通じ、在来生物に直接的または間接的な影響を及ぼします。対策としては、網による成魚や稚魚の捕獲、人工産卵床の設置による卵の駆除などが行われています。

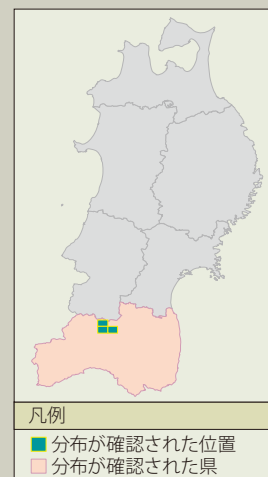


ウチダザリガニ



北アメリカ原産。食用目的の養殖から逃げた個体が野生化しました。

- **生息環境**
冷水性の河川や湖沼に生息します。
- **被害と対策**
他の小動物を捕食して生態系を攪乱している可能性が高いと考えられています。対策としては、水中での箱わな等を用いた捕獲が実施されています。

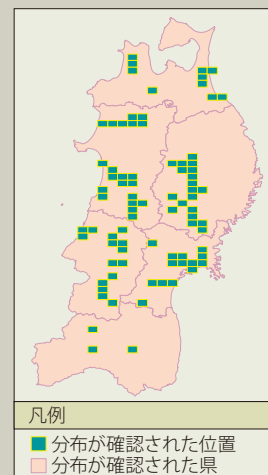


オオハンゴンソウ



北アメリカ原産。観賞用に導入されたものが野生化しています。7～10月に花が咲きます。

- **生育環境**
路傍、荒地、畑地、湿原、河川敷などに生育します。
- **被害と対策**
国立公園の湿原や溪畔林等の自然度の高い環境に侵入し、貴重な在来植物の生育地を狭めています。抜き取りや刈り取りなどの対策が行われています。



注) 特定外来生物の分布情報は、「平成21年度外来生物問題調査検討業務報告書(環境省 2010)」及び関係機関へのヒアリング結果を元に作成しており、この地域以外に生息・生育していないことを示すものではありません。